



◆ アレルギー支援ネットワーク 通 信 ◆



NO. 89

2014. 5. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

こんにちは。ゴールデンウィークがやってきました！！

皆さんは、何をして過ごしますか？

たくさん遊んで、たくさん楽しんで、たっぷり休養をとりたいですね。

ぜひ最後までメールマガジンをお楽しみください♪

===== も く じ =====

- 1、2014 年度総会開催のご案内
- 2、あいち小児保健医療総合センター・アレルギー科医師「リレートーク」第4回
- 3、第 31 回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会の活動への寄付のお願い
- 4、第9期アレルギー大学 申込み受付中 締切間近！
- 5、「アレ大修了生☆リレートーク」第16回 奥村 裕紀子
- 6、千葉アレネット情報 第1回
- 7、アレルギーっ子の防災
 - ★東日本大震災に関する支援活動のご報告と御礼
 - ★★第7回 防災のはなし 防災士 中根 輝彦
 - ★★★東海アレルギー連絡会 交流会のご案内
 - ★★★★東海・関西・中国地域防災対策ネットワーク会議
 - ★★★★★「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ
- 8、賛助会員からのメッセージ
 - ★パナソニックエコシステムズ(株)
 - ★★日本環境エネシステム(株)
- 9、アレルギーが心配な保護者の方へ
 - ★アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ 第7回 刈谷アレルギー児の会
 - ★★講演会のご案内「アレルギーについて学ぼう」
 - ★★★5月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
 - ★★★★勉強会・イベント開催のお知らせ
- 10、Gooddo(グッドゥ)についてご案内
- 11、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
- 12、募金にご協力ください

=====



1、2014 年度総会開催のご案内

日頃は、アレルギー支援ネットワークにご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

2014 年度総会を 6 月 8 日（日）に開催いたします。

総会の議決権があるのは正会員のみですが、出席者は議長の指名により発言をすることができ、一般会員、賛助会員、Web 無料会員の方、どなたでも総会に出席していただくことができます。

アレルギー支援ネットワークの活動を企画運営する理事・スタッフとの交流の機会にもなりますので、是非一度ご出席ください。皆さまからの忌憚のないご意見もいただきたいと思っております。

日時：2014 年 6 月 8 日（日） 13：00～14：30

場所：中村生涯学習センター 第 2 集会室

〒453-0021 名古屋市中村区鳥居通 3-1-3
地下鉄「本陣」下車 4 番出口より南西へ 300m

駐車場 22 台あり 満車の場合はお近くのコインパーキングをご利用ください

- 内容：（1）平成 25 年度 事業報告
東日本大震災における支援活動報告
（2）平成 25 年度 収支決算報告
（3）平成 25 年度 会計監査報告
（4）平成 26 年度 事業計画（案）
（5）平成 26 年 度 収支予算（案）
（6）その他

ご出席される場合は、メール（info@alle-net.com）でご連絡をお願い致します。

2、あいち小児保健医療総合センター・アレルギー科医師「リレートーク」第 4 回

皆様はじめまして。あいち小児で研修を始めて 2 年目になった杉浦です。この文章が配信される頃は鯉のぼりが最盛期でしょうか。今回は(といってもリレートークですので次回はありませんが)アレルギーっぽくない話を書こうと思います。

「春」は何となくふわふわした感じがする季節です。Count Basie 楽団 April in Paris のややけだるいテーマが

春のイメージにぴったりです。しかし以前、中学生くらい迄でしょうか、私にとって春といえば「となりのトトロ」のイメージでした。自然界で生命が輝き出す季節です。

私は愛知県豊橋市で高校生までの期間を過ごしました。幼少時は春になるとつくしを取り、虫取り網を持ち出して日が暮れるまで野原や川や、自然の中で遊んでいた記憶があります。現在その野原は住宅地になり、魚やザリガニを取った川も埋め立てられてしまいました。今思うととても贅沢な時間だったと思います。

小学1年生の頃にファミリーコンピュータを買ってもらい、時々ゲームをするようになりました。それでも自然界の魅力は圧倒的でしたが、その後のドラゴンクエストなどロールプレイングゲームの登場により私の興味のかなりの部分は人工的な世界に奪われてしまったように思います。

そして成長と共に再び人体という自然界に魅せられ医師となり、現在あいち小児保健医療総合センターと故郷の豊橋市民病院で診療をしています(豊橋市民病院では週に1日、経口負荷試験とアレルギー外来を担当しています)。アレルギーはもちろんですが「人」の考え方、行動、その先にある社会にも非常に興味があります。アレルギーに関することを含め、基本的な医学知識は社会全体で共有できると良いのではないかと考えています。

今年、皆様の春はどのような春だったでしょうか。浮き足立つ雰囲気の中にも新しい発見があり、良い新鮮さを感じる季節であつたらと思います。

3、第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会の活動への寄付のお願い

2014年6月28・29日に第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会が名古屋で行われます。アレルギー支援ネットワークでは、この学会に協力をし、2/2開催のプレ企画の運営等も行いました。今後は、学会内でのワークショップでは、アレルギー支援ネットワークの活動内容についての発表等を予定しております。ぜひ学会の活動資金の寄付にご協力ください。

学会活動寄付にご協力いただける方は、郵便局の払込書で下記へご入金をお願いいたします。

郵便振替口座番号：00870-8-182317
加入者名：特定非営利活動法人 アレルギー支援ネットワーク
通信欄：「学会寄付」とご記入ください

4、第9期アレルギー大学 申込み受付中 締切間近！

第9期アレルギー大学の開講が近づいてまいりました。

本年度は5月24日(土)の愛知会場をかわきりに、岐阜、静岡、三重、千葉、新潟で開講致します。

調理師、栄養士、保育士、養護教諭など専門職の方はもちろん、企業のアレルギー対応、患者家族の知識向上などすべてにおいて、アレルギーのプロがお応えする、現場で即戦力となる講座となっております。

受講希望日の10日前までがお申し込み期限となりますので、お早めにお申し込みください。

また、定員に達した講座は随時アレルギー大学ホームページにてお知らせしております。ご確認の上、お申し込みください。

皆さまのお申込・ご受講をお待ちしております。

<http://www.alle-net.com/alledai/alledai01-01/>

5、「アレ大修了生☆リレートーク」 第16回 奥村 裕紀子

私は現在、小児科クリニックにて勤務しております。主な仕事は受付・事務を、週に1回は栄養相談を担当している管理栄養士です。

近年、カルテの中に「食物アレルギーの疑い」、「食物アレルギー」等の病名を見つけるたびに、アレルギー患者が年々増加傾向にある事がわかり、栄養士として何かもっと力になって差し上げることは出来ないかと思い悩んでおりました。所属している栄養士会からいただいたアレルギー大学のパンフレットを拝見したのはそんな頃でしたが、仕事の合間に、管理栄養士資格取得の勉強をしている最中でしたので、とても時間がなく受講を先延ばしにしておりました。

資格取得後、勤務先の院長に受講の旨を相談したところ、「アレルギーの第一人者の先生方ばかりの講師陣だから、大変良い勉強になるので頑張ってください！」と背中を押され、第8期にて初級～上級まで受講することが出来ました。

実際に講義に参加してみると、第一人者の先生方から、最先端の現場でのお話が聞ける授業で、眠気もどこかへいってしまうくらい集中して拝聴できました。参加者は、栄養士以外に調理業務担当の方々、保育士、看護師、保護者等、様々な立場の方々がいらっしゃるのに驚きました。講義の休憩時間などにお隣同士お話しさせていただくと、それぞれの現場の状況を聞けることができ、立場が変わると見解が違ったりすることを目の当たりにし、講義以外にも勉強になる事ばかりでした。また、遠方から土・日の講義や実習を泊りがけで参加されている方もおみえになり、熱心さに敬服するとともに、「アレルギー大学」の全国主要都市への普及を願うばかりです。

調理実習は、5～6人でのグループ実習ですので、受講生の交流がより深まるとてもよいチャンスです。年齢層を幅広く、職種も異なるようにスタッフの方がグループ分けをしてくださっているので、

お互いにとっても刺激になり、教えてもらうこともたくさんありました。今までアレルギー対応食は、机上のレシピなどは参考にしていましたが、実際に作ってみると調理現場に携わる方々、アレルギー児を持つ保護者の皆様の、毎日の調理時における様々な配慮を重ねるご苦労をひしひしと感じ、頭が下がる思いでした。

このように、立場の異なる皆様と同じ席で勉強の出来る機会はなかなかなく、アレルギー大学はとても貴重な存在だと私は思います。学生の皆さんにも、とてもよい経験になると思うので、是非受講していただきたいですね。

今年度から「アレルギーの会」に参加させていただく事となり、職場以外でもアレルギー児を持つご家族との交流ができるようになり、大変感謝しております。今後もアレルギー大学での勉強を続けながら、患者様と寄り添い、より良いアドバイスが出来るよう自分を高めていきたいと思っています。

6、千葉アレネット情報 第1回

はじめまして。NPO 法人千葉アレルギーネットワーク 副理事長の桐谷利恵です。

千葉アレルギーネットワークは昨年の5月に出来たばかりのNPOです。千葉の患者会や医師、看護師、栄養士など様々な人が手を繋いで和を作りました。

今年度アレルギー大学は千葉では5年目になります。今年は基礎・初級、中級に加えて上級コースと特別講座として発達心理の講座も設けました。ぜひ、多くの方にいらしていただきたいと思っています。千葉会場の申し込み受付は千葉アレルギーネットワークで行っております。

また、6月からは「ノンアレカフェ」をオープンする予定です。月に1回となりますが四街道市にある、さくらそうというコミュニティーレストランをお借りして、卵、乳、小麦に対応したヘルシーでおいしい料理を提供します。ワンダージェフのお店なので他の日はそば打ちの日もありますが「ノンアレカフェ」ではお鍋や調理器具も新しい専用の物を購入しました。お近くの方はぜひ、お越しください。

新しくお鍋など購入し資金面が苦しいので寄付を募っております。

ちばのWA地域づくり基金を通して寄付をしていただくと税の優遇処置も受けられますのでよろしくお願ひいたします。

<http://chibanowafund.org/?info=717>

シェフは当団体の理事でもあります田嶋さんです。基金のHPにもあるアレルギーの子を持つ母親田嶋さんからのメッセージもぜひ、お読みください。

Twitter や Facebook、HP でも情報を発信していきますのでチェックしていただければと思います。

NPO 法人千葉アレルギーネットワーク

副理事長 桐谷 利恵

<http://www.chiba-allergynet.jp/>

7、アレルギーっ子の防災

★東日本大震災に関する支援活動のご報告と御礼

東日本大震災が起きた 2011 年 3 月 11 日の 22:10 に SOS が届いて以来、被災地のアレルギー疾患を持つ患者家族の方々に対するご支援を続けて参りました。「アレルギー患者さんのために使ってください」と、全国から心温まる支援物資・支援金をお預かりし、そのすべてを被災された方々のために使わせていただき、2014 年 3 月末をもちまして活動を終了いたしました。

名古屋に事務局がある私どもが支援活動をする事ができたのは、物資を運ぶために全国から集まってくださったバイクボランティア・運転ボランティアの皆さま、事務局事務を手伝ってくださったボランティアスタッフの皆さま、2011 年 6 月から大船渡市に設置した東北連絡所でスタッフをしてくださった皆さま、チラシを制作したり、Web 環境の整備など担当してくださった専門職の皆さまなど多くのご支援をいただいたからこそ、と感謝をしています。

物資の支援以外にも、園や学校、自治体の専門職や患者家族の方を対象に「アレルギー講演会」「アレルギー相談会」の開催。「インターネットアレルギー大学」の無料開講。

岩手県若手小児科医の、アレルギー専門病院(愛知県)での研修支援、アレルギー疾患の症状改善の一助とするための仮設住宅の環境調査、などを行いました。詳しくは、HP の「アレルギーっ子の災害対策」「東日本大震災から学ぶ」に掲載をしています。

<http://www.alle-net.com/bousai/bousai05/bousai05-01/>

発生直後から支援活動に奔走、2012 年 12 月まで進行性癌の治療を受けながら大船渡を拠点に支援活動を継続した、アレルギー支援ネットワーク理事の栗木が 2013 年 4 月に永眠し大きな悲しみに暮れましたが、活動を引き継ぎ、無事に支援活動を終了することができ安堵しております。

会計報告は、6 月 8 日に開催いたします年次総会終了後に、HP 上に掲載させていただきますので、ご覧ください。

ご支援くださいました全国の皆さま、本当にありがとうございました。理事・スタッフ一同、心より御礼申し上げます。

活動はいったん区切りをつけますが、今年度は、大船渡市・陸前高田市に仮設住宅の環境調査結果の報告に行くことと、3 年間に行ったアレルギーに関する普及啓発活動を継続する資金を作るため、助成金の申請を考えています。

★★第7回 防災のはなし「アレルギー患者団体の共助の仕組みづくりー1」

防災士 中根 輝彦

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。
災害復旧支援・防災におけるアレルギー支援の取り組み事例について、一つ一つ紹介するシリーズ、第3回目です。

前回は、「とどけ！ぱりまるプロジェクト」。企業、自治体、学校法人、社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体、一般市民と多彩な関係者が超win-win関係の下、アレルギー支援、被災者支援、障害者支援と複合的な支援をしている例を紹介しました。

今回は、「東海・関西・中国地域防災対策ネットワーク会議（交流会）」から考える共同備蓄ネットワークについてのお話です。

まずは、「東海・関西・中国地域防災対策ネットワーク会議（交流会）」の紹介から。

3月21日に京都で、NPO法人アレルギーネットワーク京都ぴいちゃんねっとの主催により、東海・関西・中国地域のアレルギー患者団体が集まって、広域ネットワーク構築に関する意見交換、各地域での取り組み事例などの情報共有をしました。

今回が第1回の会議ということで、お互いの状況を知るところから始まりました。まだ、どこまでやりたいか、どこまでやれそうか、といった匙加減を探る段階であり、具体的な構想案まではたどり着いていません。今後、会議を重ねながら具体化していくことになるようです。

プログラムによると、参加団体同士の共助だけでなく、地域の防災団体や自治体とのネットワーク作りまで視野に入れており、行く末は国民運動的取り組みになりそうな対象範囲です。

このメルマガの第4回で「共同備蓄」についてお話ししましたが、今回の広域ネットワーク構築のテーマのひとつとして、共同備蓄ネットワークを考えるという視点で、今回の対策会議を振り返ってみたいと思います。

防災に対して、ボランティア団体や行政との協働に対して、団体ごとに意識や取り組み状況が異なっていることや、地域によって想定される災害や被害予測がさまざまであることから、統一された共同備蓄の取り組みをするのは困難であると、参加者の発言内容や考え方から、理屈ではない生々しい実感として感じられました。

目指す姿（理想像）をしっかりと描いてから取り組むという手法は、なかなか具体化していかないように思いました。今回のような広域を対象とするネットワークではなおのことです。できる地域や団体から、できることから、試行錯誤しながらPDCAを回す方法で進めるほうが少しずつでも形が見えてきそうです。

共同備蓄の必要性をアピールするための一つの取り組みとして、団体間の救援物資輸送訓練を提案したい。このメルマガの第5回で紹介した「アレルギー対応備蓄食の搬送訓練」（自主防災組織版）をあちこちのアレルギー患者団体間で展開しようという試みです。

アレルギー患者団体が参加する防災訓練において、意図的に救援物資輸送訓練を組み込み、備蓄ネットワークに参加する他の団体が、救援物資を提供する外部団体として加わるというものです。

このような取り組みをしている例は少ないため、マスコミも取り上げてくれるのではないのでしょうか？アレルギー対応備蓄の必要性や共同備蓄ネットワークの有用性をアピールし、新しい訓練メニューの提案をすることで、自主防災組織やボランティア団体と協働体制を築くチャンスになるのではないのでしょうか？

はじめはアレルギー関連啓発の一環としてのデモンストレーション的な取り組みと考え、団体間の交流や関係構築が進んだら、取り組み内容に改良を加えて本気モードの訓練に変えていくという方法も考えられると思います。

備蓄ネットワークに参加する複数の団体が参加するようになったら、この訓練を発展させて、全国規模の一斉訓練にするというのはどうでしょうか？各地域のまとめ役となる団体がハブの役割を担って、地域内の近隣団体との間で集配をしたり他のハブ団体間との中継をしたりすれば、宅配業者のような全国的な相互供給体制も可能となるのではないのでしょうか？

そこまでの備えが必要か？という声も聞こえてきそうですね。でも、アレルギー対応の備蓄食が、備蓄量も生産量も十分でないなら、全国的な分散共同備蓄体制を整えることも将来の発展形として必要だと考えます。南海トラフ巨大地震が発生したら、被災地以外の地域で、被災地のアレルギー患者を支えるだけの備蓄・追加生産できる体制は整っているのでしょうか？東日本大震災ではどうだったのでしょうか？

今回は、「東海・関西・中国地域防災対策ネットワーク会議（交流会）」から考える「救援物資輸送訓練（アレルギー患者団体版）」の提案でした。防災対策ネットワーク会議の動向については、今後の会議開催に応じて紹介していきます。

次回は、「救援物資（アレルギー対応備蓄食）輸送訓練」の事例（愛知ー新潟）について紹介しま

す。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。@TeruhikoNakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただけると嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先 : info@alle-net.com

★★★東海アレルギー連絡会 交流会のご案内

2000年11月、愛知でアレルギーの会全国交流会を開催した際、東海地区のアレルギーの会が協力して開催地実行委員会を作り、その準備をおこないました。また、阪神淡路大震災の時には、アレルギーの連絡会が組織されていたため、助け合うことができたという教訓を受け継いで、震災対策など日常的な協力関係を持つ会をつくろうと意見がまとまり、会の運営申し合わせなどを確認し、2001年6月に「東海アレルギー連絡会」が発足しました。以来、年に3回程度の交流会と、年に1回の総会を開催し、災害対策はもちろんのこと、会の運営や給食など地域の問題も含めて、経験交流をしています。

<http://www.alle-net.com/network/network04/network04-02/>

そして、昨年度より、アレルギー支援ネットワークが、その事務局を務めています。

今年度の第一回の交流会は以下のとおりです。

東海地域で活動する患者会はもちろん、患者会の無い地域の個人参加、会に所属されていない方の参加も大歓迎です。

会に所属されていない方で参加を希望される場合は、info@alle-net.com

中西宛、ご連絡ください。

2014年5月18日(日) 13:30-16:00 昭和生涯学習センター 第一集会室

議題 各患者会の活動報告

南海トラフ地震に備えて

緊急連絡体制について

その他

東海アレルギー連絡会・事務局 中西

★★★★東海・関西・中国地域防災対策ネットワーク会議

3/21(金・祝)京都にて「東海・関西・中国地域防災対策ネットワーク会議」が開催され、11 団体が参加をしました。

中国地域より 4 団体〔NPO 法人ヘルスケアプロジェクト(広島)・ビーンズクラブ(島根)・ぽれぽれ(山口)・ナチュラル(鳥取)〕、関西地域より 4 団体〔NPO 法人アレルギーネットワーク京都ぴいちゃんねっと(京都)・はすの会(大阪)・つくしんぼの会(大阪)・宇治アレルギーの会のびのびの木(京都)〕、東海地域から 3 団体〔NPO 法人アレルギー支援ネットワーク・東海アレルギー連絡会・緑アレルギーの会(名古屋市緑区)〕、その他自治体・企業など、合計 17 人が参加をしました。

アレルギー疾患があると、地震・水害などの災害がおきた時にたくさんの困りごとがあります。私たちは、阪神淡路大震災・中越沖地震・東日本大震災における支援活動の教訓から、平時から自助・共助・公助の仕組みを作っておくことが大切だと考えていますが、全国各地の団体より、実際にどのように取り組んだらよいか教えてほしい、というご相談もきています。今回は、真如苑の助成事業として、西日本のネットワーク会議が実現しました。

第一回目の会議の目的は、まずは、顔の見える関係を作り情報を共有すること、災害時に連絡をとりあうことができるようにすることと、それぞれの団体が地域でアレルギーっ子の防災対策についての課題を把握し、普及啓発活動ができるようにすることでしたが、今後の課題もみえてきました。

東日本大震災直後、平成 23 年 5 月に小児アレルギー学会から

「災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット」

http://www.jspaci.jp/modules/gcontents/index.php?content_id=4

が発刊されたことや、アレルギーの会全国連絡会が平成 24 年 9 月に防災担当大臣宛に要望書（要望項目：災害時マニュアルへのアレルギーの記載、避難所でのアレルギー有無についての聞き取り、備蓄食料のアレルギー対応とその内容・保管場所の周知・注意喚起の表示、備蓄毛布等のハウスダスト対策など）を出したことなどが反映され、

平成 25 年 8 月には、内閣府(防災担当)が『避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針』を発表、アレルギーについてかなり丁寧に記載されました。

<http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/h25/pdf/kankyokakuho-honbun.pdf>

今後は、各市町村において、この指針を元にアレルギー対策が行われるよう、それぞれの患者会が自治体に対する要請活動を行っていけるよう、年に一回程度は集まり、情報の共有と課題解

決に向けての話し合いをすることを目標に、助成金の申請なども進めていきたいと思いを。

常務理事 中西里映子

★★★★★「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ

【防災セットとは】

アレルギー支援ネットワークの、防災救援システムの一つです。

緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンドにより、アレルギー疾患を持つ患者家族の皆様が、アレルギー支援ネットワークと連絡を取り合える事を目的とし、

災害時・緊急時に患者の情報をスムーズに伝えるために役立つ緊急時（災害時）おねがいカードをセットにしました。

【セット内容について】

防災セットは、緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンド1本・緊急時（災害時）おねがいカード3枚がセットになります。

【緊急時安否確認システム】

地震など大きな災害が発生した場合は、被災地域の登録者に対してアレルギー支援ネットワークより安否確認メールを送信します。

メールに返信していただくことで安否の確認をいたします。その際必要な情報がある場合希望内容をご連絡ください。

被災した現地の支援情報等得ることができている範囲での最新情報をお伝えいたします。

【データ登録シリコンバンド】

シリコンバンドには安否確認システムにリンクする登録番号が印字されており、バンドを身につけていることで、緊急事態でも事前に登録された患者情報から迅速に救援の手配をすることができます。

【緊急時（災害時）おねがいカード】

災害時に保護者と離れ離れになっても、周囲の人にアレルギー症状や除去食品、連絡先や主治医等の情報を正確に知らせるための携帯用カードです。

非常時にはもちろんのこと、平常時にも周囲に正確な情報を提供するために役立ちます。

【防災セットお申し込みについて】

対象者：食物アレルギー、ぜん息、アトピー性皮膚炎などの患者本人または保護者の方

料金：アレルギー患者1人につき1セット無料（登録料・管理サービス料・送料などすべて不要です。）

注意・・公益事業として助成金で作成費などを補っているため、無償サービスは先着 1 万名様となります。有償になる場合は事前に HP でご案内いたします。

予備・追加について：予備の購入、紛失等による追加は、シリコンバンド 1 個 250 円、緊急時おねがいカードは 1 枚 25 円となります。

(送料・振込手数料は自己負担となります)

【申し込みの流れ】

① 安否確認システムへの登録 (アドレス表示) から登録してください。

登録方法をご覧ください、<http://alle-res.com/Contents/Menu.php> よりご登録下さい。

(既にシリコンバンドをお持ちの方もまずは安否確認システムへご登録ください)

登録に使用するメールアドレスは、「@」より前に「.」の使われているものはご利用になれません。登録メールアドレスを設定する際に、メールフィルターをご使用の場合には、メールフィルターの設定を解除してください。

↓

②アレルギー支援ネットワークに登録情報が届く。

↓

③登録番号の決定 (番号の指定はできませんので予めご了承ください)

↓

④登録番号の入ったシリコンバンド (1 本) と緊急時おねがいカード (3 枚) が届く。

(登録から発送まで、1～2 週間ほどかかります。)

【登録後】

災害時・緊急時にこのシステムを少しでもスムーズにご利用頂けるよう、日頃から 3～4 ヶ月に 1 度程度メール配信をいたします。

メールアドレス変更・登録内容の変更等は、防災ネットワーク・お問合せフォームよりご連絡ください。

現在、様々な状況に応じできる限りの情報提供ができるよう平時より体制を整える準備を進めています。

8、賛助会員からのメッセージ

★パナソニックエコシステムズ (株)

『除湿乾燥機の用途と選び方』

パナソニックエコシステムズ(株)

梅雨＝洗濯物がなかなか乾かない季節が間近にせまり、家電製品売場にも各メーカーの除湿乾燥機の新製品が並び始めました。

今回は『除湿乾燥機の用途と選び方』について紹介します。

除湿乾燥機は、除湿方式や能力、機能の違いで、多くの種類があります。除湿乾燥機を選ぶ際の主なポイント『用途』『使う季節』『使う場所』について紹介します。

<1>除湿乾燥機の用途で選ぶ → 【除湿乾燥機の機能】をチェック！

【1】洗濯物・衣類乾燥に使用する場合】

洗濯物・衣類乾燥で大切なポイントは、除湿乾燥機の『乾燥時間』『衣類乾燥の自動停止機能』『風の広さと風量』です。

まずは乾燥時間をチェック。時間が短いほど早く乾燥できます。また、洗濯物が乾いたかどうかを検知して除湿乾燥機を自動停止する機能は、ムダな運転が抑えられてさらに省エネです。

そして、意外と見落としがちなのは、風の広さ。風が狭いと洗濯物の一部に風が当たらずに、乾燥ムラにつながることもあり、実際の使用では重要なポイントです。

■乾燥時間

カタログには日本電機工業会で決められた試験方法で測定した乾燥時間が表示されています。これは「6畳の部屋で、温湿度条件 20℃70%、2kg の洗濯物に相当する布で試験をした結果」です。

○パナソニックは『衣類乾燥スピード No.1』

パナソニックのハイブリッド式除湿乾燥機(F-YHKX120)は、室温が20℃の場合は、2kgの洗濯物を約43分で乾燥。冬(室温10℃)の場合でも約59分。衣類乾燥スピードNo.1(*)です。(詳しくはHPで)

(*)2013年3月1日時点。実使用時の運転時間は、環境や衣類の種類、量、干し方により異なります。

■衣類乾燥の自動停止機能

洗濯物の乾燥具合を自動で検知し、乾いたら停止する機能があると、洗濯物をセットしたあとは除湿乾燥機にお任せ。ムダな電気代も使わず省エネです。

○パナソニックは『エコナビ機能で自動停止』

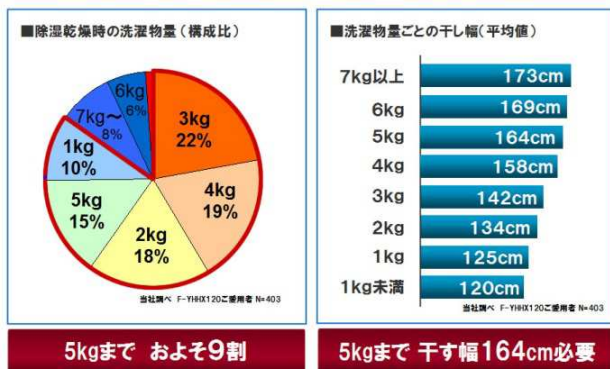
パナソニックの除湿乾燥機は、洗濯物の量と乾燥の進みぐあいを、温度と湿度の変化から高い精度で判断。乾燥終了を検知して自動停止し、ムダなエネルギーを使わないエコナビ機能を搭載しています。

■風の広さと風量

当社の除湿乾燥機ユーザの洗濯物量は5kgまで・干し幅は164cmまでが約9割を占めます(パナソニック調

査)。洗濯物を効率的に乾かすには、ワイドな気流が必要です。

除湿乾燥機を使用して衣類乾燥する際の干し方を調査



○パナソニックは『ワイド気流を搭載』

パナソニックのハイブリッド除湿乾燥機は、ワイドモードを搭載。当社従来品の1.5倍になる165cmの送風幅を実現しています。他にも、洗濯物が多いときに適したウェーブモード、少量の場合に適したスポットモード、低いところの乾燥に適した下向きにも対応しています。

○パナソニックは『風量を13%向上』

風量が多いほど、乾燥には効果的です。風量を高めるための様々な工夫で、当社従来品と比較して風量を約13%向上し、衣類乾燥スピードNo.1を実現しています。

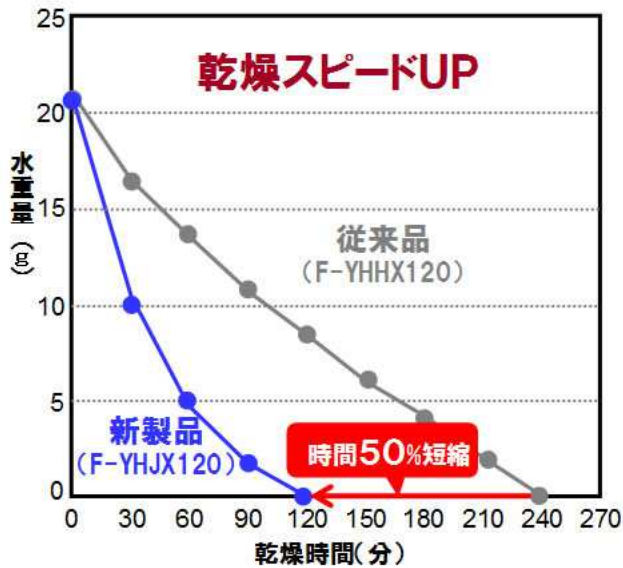
(2)【部屋の乾燥に使用する場合】

日本電機工業会で、除湿能力と部屋の広さの目安が決められています。部屋の乾燥を行なう場合は、目的のお部屋に適した能力の除湿乾燥機を選んでください。

(3)【スポット乾燥に使用する場合】

洗濯物を乾かすときは上向きのワイドな風。押し入れや靴箱の中、低いところにあるマットなどの乾燥は、下向きの風を出す機能が便利です。

■うわばき乾燥時間 従来比較



○パナソニックは『下向きの風速約 1.8 倍』

本体の後から、下の方向に乾燥した風を送る機能があります。うわばきの乾燥時間を約 50%短縮しています(従来品 F-YHHX120 との比較)。

<2> 除湿乾燥機を主に使う季節で選ぶ → 【除湿の方式】をチェック！

【使う季節によって、適している除湿方式が違ってきます】

①【ハイブリッド式】

冬でも能力の低下が少なくしっかり除湿できるので、年中使用可能。コンプレッサー式より若干消費電力は高くなりますが、年間を通して使用する場合、性能と省エネ性のバランスが最も優れています。

②【デシカント式】

冬でも能力の低下が少なくしっかり除湿できるので、年中使用可能。コンプレッサーがなく小型・軽量。

③【コンプレッサー式】

冬場は能力が大きく低下するので、梅雨や夏に限った使用に おすすめ。省エネ性に優れています。

○パナソニックは【ハイブリッド式】と【デシカント式】の商品を提供しています。

<3> PanasonicHP 【もっと詳しく「除湿乾燥機」編】ご紹介

なおPanasonicのHPでは、除湿乾燥機に関する最新情報や技術を紹介する

【もっと詳しく「除湿乾燥機」編】コーナーを開設しています。
こちらもぜひご覧ください。

●最新機種のご紹介

<http://panasonic.jp/joshitsu/>

●除湿乾燥機 こだわりの技術

http://panasonic.co.jp/es/peses/products/iaq/dtec_index.html

●除湿乾燥機の用途と選び方(今回紹介)

http://panasonic.co.jp/es/peses/products/iaq/dqa_index.html

●Panasonic除湿乾燥機の歩み

http://panasonic.co.jp/es/peses/products/iaq/dhistory_index.html

★★日本環境エネシステム（株）

はじめまして。今年度から法人会員となりました、太陽光発電事業を行っている日本環境エネシステム株式会社です。

国による固定価格買取制度を契機に、平成24年8月に会社を設立しました。
名古屋市中区大須に事務所を構え、昨年10月から千葉県物流倉庫屋根での太陽光発電事業を開始。
今年5月には、岐阜県中津川市に地上設置型の太陽光発電事業を開始する予定です。

代表の岡本光生は、設計事務所の株式会社快適空間研究所の代表も兼務していますが、建築の専門家の視点から長年アレルギー支援ネットワークの方々にはお世話になっております。

このたびの自然エネルギーを扱う弊社の立ち上げに際して、すべての人々の生活を支える事業であり、また国民の皆様を支えていただけて市場を作っている事業ということもあり、何か社会に貢献（恩返し）できることに参加できればという気持ちでいましたので、アレルギー支援の活動に参加し勉強させて頂くことで、より意義のある事業運営をさせて頂けるのではと考えています。

アレルギーと太陽光発電との関係でいえば、太陽光発電は、発電時にCO₂を発生させないクリーンエネルギーなので、アレルゲンを排出せず電気を作ることができます。

アレルギー対策と自然エネルギー分野のコラボレーションは、今後研究のやり甲斐のある分野だと思いますので、友好的な取り組みができるよう努めて参りたいと思います。

これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本環境エネシステム株式会社

<会社情報>

日本環境エネシステム株式会社

代表取締役 岡本光生

〒460-0011

愛知県名古屋市中区大須四丁目 13 番 46 号

ウィストリアビル 202 号

TEL 052-269-0878 FAX 052-269-0879

ホームページ <http://www.kankyo-enesystem.jp>

9、アレルギーが心配な保護者の方へ

★アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ 第7回 刈谷アレルギー児の会

アレルギーについての情報が少なく、親同士が交流する場所がない状態でした。病院や食料品の購入場所、外出先での過ごし方などの情報交換や親同士が気楽に悩んでいることや、困っていることなど自由に話せる場が必要と考え、平成21年1月に食物アレルギーを学ぶことができるアレルギー大学で知り合った2人で、NPO法人アレルギー支援ネットワークの指導を受けて、会を立ちあげることにしました。

会発足当初は会の存在を知ってもらうことから始め、医療機関や店舗、子どものいる方が目にする機会の多い場所を探し、チラシを置いてもらう活動を行いました。

現在は毎月5、6組の親子が参加しております。

平成24年度かりや夢ファンド（刈谷市市民活動活動支援基金）の補助金を受け、活動するまでになりました。

現在の活動内容は、月一回の交流会では、幼稚園保育園学校で生活・給食での問題点や解決方法、アレルギーの治療・病院などの情報交換を話し合っています。また、栄養指導・アレルギー対応調理実習を行っています。

東日本大震災での情報や教訓から学び、自主防災に力入れており、地域の方々にアレルギー児がいることを知っていただく活動とともに、防災に携わっておられる方々との情報交換を行っています。このことをきっかけにし、ボランティア団体をはじめ、地域の方々との相互理解を深め、助け合っていけるようコラボレーションに力を入れていきたいと考えています。

交流会は、刈谷市民ボランティア活動センターを中心に行っております。日程等については、ホームページ（かりや衣浦つながるねット）をご覧ください。アレルギーのあるお子さん（中学生まで）を

お持ちの保護者の方の参加をおまちしております。お知り合いに、悩んでいる保護者の方がおられたら会の存在をお伝えくだされば幸いです。

5月25日(日)の交流会では、メンバーの日々の悩みを持ちより交流会をしたいと考えています。是非一度ご参加ください。悩みが解決するかもしれませんよ。いろいろなママの話も聞けて、今後の参考になると思います。

6月は、ポリ袋調理を企画していますので興味のある方は、ご連絡くだされば、詳しく決まり次第こちらから連絡します。よろしく願いいたします。

★★講演会のご案内「アレルギーについて学ぼう」

5月13日(火) 11:00~12:30 名古屋市子ども子育て支援センター

758 キッズステーションにて、「アレルギーについて学ぼう」～アレルギーが心配な保護者の方集まれ!～を開催致します。アレルギーについての基礎的な知識から、日常生活で気を付ける点までアレルギーっ子をサポートするための方法を詳しく、丁寧にお伝えします。

詳しくは758 キッズステーション(電話番号052-262-2372)までお問い合わせ下さい。

【講演会詳細】http://www.kosodate.city.nagoya.jp/kids/course_itiran0407.html#13

【講座申込み】<http://www.kosodate.city.nagoya.jp/kids/uketuke.html>

★★★5月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな?と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど

私たちと一緒に話をしませんか?どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合せも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

参加希望の方はご連絡を下さい。お待ちしております。

【5月の日程】

1日(木)	守山アレルギーの会	10時~予定	会場は未定
2日(金)	あま市アレルギーの会	10時~	美和公民館 和室1
8日(木)	天白アレルギーの会	10時~	天白区在宅サービスセンターボランティア室
14日(水)	ぶちヴェール(日進・長久手アレル	10時~	北部福祉会館

ギーの会)

15日(木)	アレルギー支援ネットワーク	10時～	アレルギー支援ネットワーク 事務所
15日(木)	豊橋アレルギーっ子の会	10時～	豊橋会館「さくらピア」児童保育室
15日(木)	豊川アレルギーっ子の会	10時～	ウィズ豊川
16日(金)	豊田アレルギー児ママの会	10時30分～	とよた市民活動センター (T-FACE・9階)
16日(金)	岡崎アレルギーの会	10時30分～	南部地域交流センター
18日(日)	名東アレルギーの会	10時～	名東区在宅サービスセンター・研修室
22日(木)	緑アレルギーの会	10時～	片平ふれあいセンター 和室
22日(木)	蒲郡アレルギーっ子の会	10時～	蒲郡勤労福祉会館・和室
25日(日)	刈谷アレルギー児の親の会		刈谷市民ボランティア活動センター
25日(日)	西尾アレルギーの会・アレっ子元気	10時～	総合福祉センター4階

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は

電話 052-485-5208

URL <http://www.alle-net.com/>

皆さまのご参加をお待ちしております。

★★★★勉強会・イベント開催のお知らせ

アレルギーに関する勉強会や、イベント・情報などをホームページにて掲載しております。
みんさまの、情報交換の場として、是非ご活用ください。

詳しくはこちらをご覧ください。<http://www.alle-net.com/info/info07/info07-08/>

10、Gooddo (グッドウ) についてご案内

アレルギー支援ネットワークは、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo (グッドウ) に参加いたしました。

<http://gooddo.jp/gd/group/allesien/?md=fb>

上記のリンクから gooddo のアレルギー支援ネットワークのページに行き、毎日ぜひクリックして下さい。(クリックにお金はかかりません)

クリック数に応じて応援企業から支援金が「アレルギー支援ネットワーク」に届けられます。

▼gooddo（グッドゥ）とは？

自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に応援することができるソーシャルグッドプラットフォームです。

ぜひ「クリック」「いいね！」でご協力をお願いいたします！

<http://gooddo.jp/gd/group/allesien/?md=fb>

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ：info@alle-net.com

11、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

皆さまは、既にお持ちですか。

アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。

本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々に執筆・編集協力をしていただいております。充実した内容になっています。

アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆様はもちろん、アレルギーについて勉強がしたい、興味があると言う皆様にもぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

12、募金にご協力ください

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※

「GiveOne 寄付サイト」<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト
～アレルギーを持つ親の不安な気持ちを支え、子供たちの笑顔を守ろう！！～

(※GiveOneの寄付サイトでは引き続き掲載をさせていただいております。)

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10290>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じて寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

=====
★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは

asn-mailmagazine@alle-net.com (メルマガ編集部) までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆ ★☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでもOKです。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

-----★みなさまからのご要望、
お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6 (3月5日に事務所はこの住所に移転致しました)

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----